

第65回SGRA-Vフォーラム
第5回日本・中国・韓国における
国史たちの対話の可能性



「19世紀東アジアにおける
感染症の流行と社会的対応」

第65回SGRA-V会议
第5回日本・中国・韓国
国史対話的可能性



「19世纪东亚传染病的
流行和社会对策」

제65회 SGRA-V포럼
제5회 한국·일본·중국
간 국사들의 대화 가능성



「19세기 동아시아에서의 전염병
유행과 사회적 대응」

第5回国史たちの対話 当日の写真

日 時： 2021年1月9日（土）午後2時～5時30分（日本・韓国時間）
午後1時～4時30分（中国時間）

方 法： Zoom Webinarによる

主 催： 渥美国際交流財団関口GLOBAL研究会（SGRA）



今回の国史たちの対話は、
Zoom Webinarを使用し、
完全オンラインでの開催となりました。

第1セッションは、村和明先生（東京
大学）が司会をしてくださいました。



今西常務理事の
歓迎挨拶の後、
趙珖先生（韓
国国史編纂委員
会）より開会
のご挨拶を頂き
ました。



朴漢珉先生（東北亜歴史財団）



市川智生先生（沖繩国際大学）



余新忠先生（南開大学）

朴漢珉先生、市川智生先生、余新忠先生（発表順）が「19世紀東アジアにおける感染症の流行と社会的対応」をテーマに発表してくださいました。



朴漢珉先生（東北亜歴史財団）の発表

「開港期朝鮮におけるコレラ流行と開港場検疫」

仁川港의 臨時檢疫規則 制定



- ▶ 스즈키 미쓰요시(鈴木充美) 인천 주재 일본영사의 대응
 1. 위생회 조직
 2. 임시검역규칙 제정과 실시
- ▶ 인천 해관장 대리 쇠니케(J. F. Schönicke)와 면담
- ▶ 다카하라 고고로(高平小五郎) 주한 일본공사 :
 - "우리 행정권을 할여(割與)하는 단서가 되어 상당히 부적절"
 - 격리병원(避病院) 설립 방법, 검역관(檢疫官) 선정 미비

虎列刺 豫防 關聯 規則 草案



「朝鮮國仁川出洋船隻出港檢疫規則制定」第二草案 一作



市川 智生 先生（沖縄国際大学）の発表
 「19世紀後半日本における感染症対策と開港場」



余 新忠 先生（南開大学）の発表
 「中国衛生防疫メカニズムの近代的発展と性格」

一、引言

卫生
 田野康头
 健康快乐

干净整洁

绿色环保

文明健康

一、引言

中国人丝毫不像受压迫的民族，世界上再没有比他们更不受官方干扰的了。你可以在中国的镇子上住上好些天也不会看见警察。每个人都可以做他认为正当的事情。他把垃圾扔到街上，没人管他；他把车子停在街上，也没人抱怨。在多数地方，不是在首都举行婚礼或葬礼的人家可以把屋子延伸到街上，甚至整条街上，活动延续几天；邻里街坊甘愿接受种种不便。他们知道，自己将来也会麻烦别人。

威廉·亚历山大·彼得森·马丁
 (William Alexander Parsons Martin, 1827年4月10日 - 1916年12月17日), 汉文名丁魁良, 字冠西。美北长老会派至中国的传教士。1898年被任命为京师大学堂首任总教习

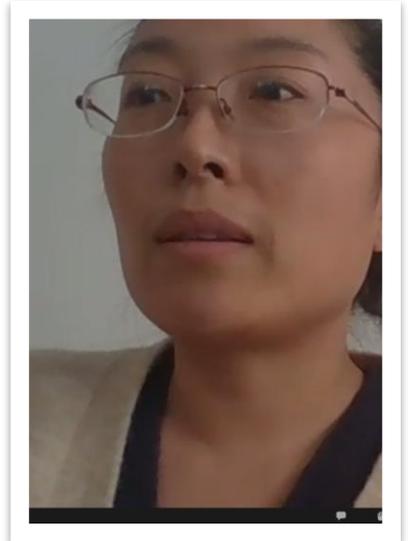
花甲忆记



金 賢善 先生（明知大学）



塩出 浩之 先生（京都大学）



秦 方 先生（首都師範大学）

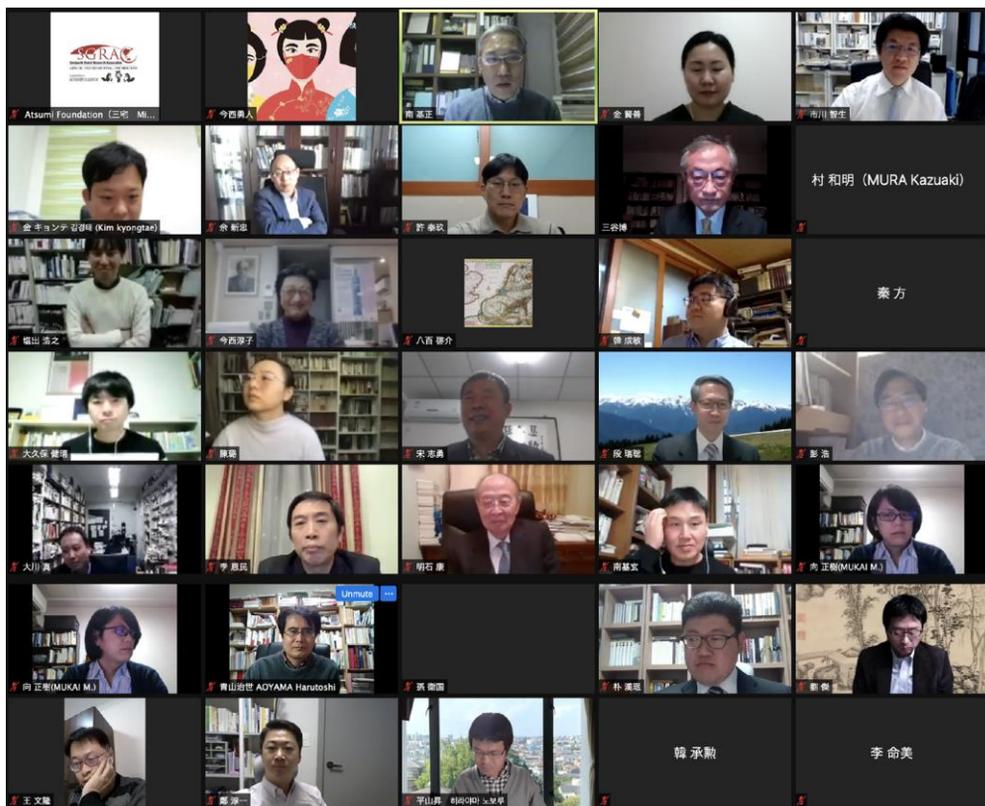
指定討論として、金賢善先生、塩出浩之先生、秦方先生（登壇順）が3名の先生方の発表に対してコメントしてくださいました。



自由討論に先立ち、劉傑先生（早稲田大学）が論点整理をしてくださいました。

第2セッションは、南基正先生（ソウル大学）が司会をしてくださいました。





今回の国史たちの対話には、過去4回の会議にご参加くださった先生方が多数パネリストとして参加してくださいました。

自由討論では、オンライン開催ということもあり、時間的な制約が大きい中でも、チャット機能も活用し、活発な議論が交わされました。



宋志勇先生（南開大学）による総括の後、明石康さま（元国連事務次長）よりコメントを三谷博先生（跡見学園女子大学）より閉会のご挨拶を頂きました。今回も素晴らしい通訳で対話を助けてくださった同時通訳のみなさんにも惜しめない拍手が贈られました。

